

第13回 調布市総合計画策定産学官連携会議 議事要旨

1 日 時：令和5年3月23日（木）16:00～17:00

2 場 所：調布市役所5階市長公室（オンライン（Zoom）併用開催）

3 出席者：

【委員】

小柳会長（調布市 行政経営部）

佐藤副会長（アフラック生命保険株式会社）

川上委員（東日本電信電話株式会社）

大前委員（特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム）

二羽委員（京王電鉄株式会社）

森倉委員（国立大学法人電気通信大学）（順不同）

【事務局】

行政経営部企画経営課）永井次長兼企画経営課長，長井主幹，村岡課長補佐，栗野係長，栗原主任，武田主任，本間行政実務研修員

4 議 題：

(1) 開会

(2) 調布市総合計画策定産学官連携会議からの総合計画策定に関する提案の調布市基本計画への反映状況

(3) 各委員からの意見・感想

(4) その他

(5) 閉会

5 資 料：

【参考資料】調布市総合計画策定産学官連携会議からの総合計画策定に関する提案の調布市基本計画への反映状況

1 開会	
(事務局)	今回はオンサイトとオンラインの併用の開催とする。 会議の内容について、後日議事要旨を公開する。
2 基本計画策調布市総合計画策定産学官連携会議からの総合計画策定に関する提案の調布市基本計画への反映状況	
(事務局)	基本計画について資料をもとに説明。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の今後の進め方はどうなるのか。実現が難しいものもあると思うが、どこまで責任を果たしていくのか。 ・提案を反映いただいたことは感謝しているが、計画策定を担った企画経営課と実務を担う各所管課の認識相違が出てくると想定していて心配している。 ・前回の会議後に、「スマートシティを目指す」という文言を「行革プラン」に追加いただいたので委員の皆様にも共有したい。
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画事業に位置付けているものは各年度の予算に組み込んで実施していくし、言葉で説明しているものについては、各年度で検討していくことになる。予算化をしていくうえで状況を確認しながら進めていきたい。毎年PDCAサイクルを回して振り返りをしているので、都度、状況の変化に対応していきたい。 ・各項目について、各課の捉え方の違いはあると思うので、担当課には提案いただいた主旨を丁寧に説明していきたい。
3 各委員からの意見・感想	
(委員)	<p>今回が最終回の会議となることを踏まえた1年半の活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画を考えていくことは大変勉強になった。「計画を作った」ということは本当の意味でのスタートだと思う。これをいかにして具体的なものに落とし込んでいくか、が計画策定に関与した一員としての責任だと自覚している。 ・これからが大切になってくると思う。スマートシティ協議会の活動とも連動していると思うので、今回の経験をもとに、長期的視点で提案できることがあれば引き続き提案を行っていきたい。 ・市と一緒に取組をしていくのは初めての経験となった。産学官連携会議の活動を通じて、社外に多くの接点を持つことができ、社内でも連携する機運が生まれてきた感覚を持っている。提案し基本計画に入れていただいた項目はきちんと実行できるように引き続き協力していきたい。 ・産学官連携という言葉はよく聞くし、自社が参画している自治体もあるが、本当にうまくいくかどうかの「肝」は、参加者がどれだけ「汗をかけるか」にかかっていると思う。今後は実働にあたってのエンジン・推進力になっていきたいと思う。 ・民間企業の社員として勤務してるので、行政の計画策定にかかわるということは貴重な経験となった。産学官連携といっても、ここまで事業者・委員の声を聞き

(事務局)	<p>ていただける自治体は多くないのではないかと思います。市に貢献できることは何かという視点で活動してきた。今後は提案したことについては責任をもって対応していきたい。基本計画の後期4年についても継続して声をかけていただけるよう努力していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携会議は初めての試みであったが、今後このスキームが各課に広がっていくのではないかと思います。
4 その他	
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議論については議事要旨を公開する予定。 ・今回委員からいただいた意見とは別に、所属する会社・団体としての意見・感想があれば別途連絡いただきたい。
5 閉会	